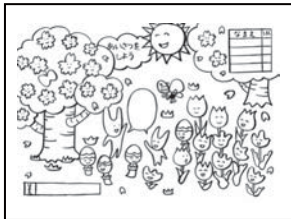

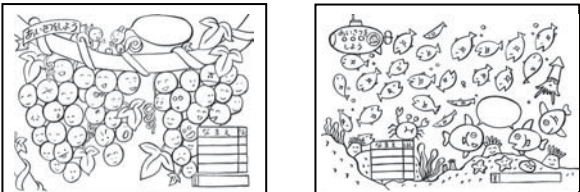
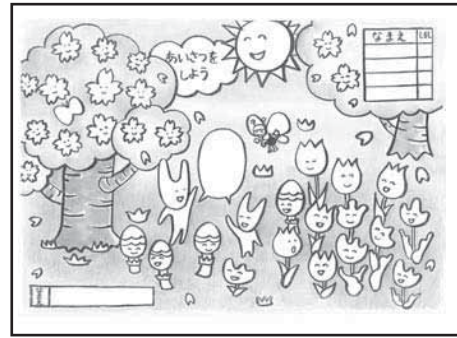
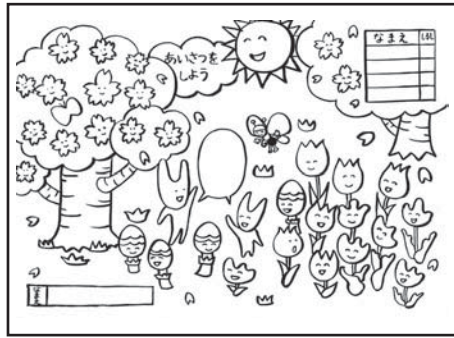


分類	1-(1) 2-(2) 3-(2)			資料名	あいさつをしよう
資料について	 <p>あいさつカード 5種類</p>		 <p>「すてきなことば」 楽譜</p>	<p>「あいさつカード」は、いろいろな人とあいさつをするときに、色塗りをしたり、シールを貼ったりしてあいさつをすることが楽しくなるようにするために作成しました。</p> <p>「すてきなことば」の歌は、いろいろな場面に応じてのあいさつの言葉があることを知ったり、「ありがとう」「ごめんなさい」など人と気持ちをつなぐ言葉があることを歌いながら覚えたりできるように作成しました。</p>	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつを交わすことで、互いに気持ちが通じ合う喜びを味わう。</li> </ul>				
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「すてきなことば」の歌を通して、時や場面に応じたあいさつの言葉があることを知る。</li> <li>○ あいさつを交わすことで気持ちがつながっていくことを知る。</li> </ul>				
指導の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつの言葉が、人と人を結びつけることに気づくようにしていく。</li> <li>「あいさつカード」を使用し、あいさつをする楽しさを感じられるようにする。</li> <li>幼児だけでなく、保護者や地域の人にもあいさつの輪を広げていく。</li> </ul>				
展開例	活動内容		環境の構成・教師の援助		
	<p>① いろいろなあいさつの言葉があることを知る。</p> <div data-bbox="260 1178 1225 1267" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教師：「おはようございます」これは、朝のあいさつですね。 みなさんは、ほかにどんなあいさつの言葉を知っていますか。</p> </div> <div data-bbox="240 1279 799 1525" style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>【予想される幼児の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お昼に会ったら「こんにちは」</li> <li>・幼稚園から帰るときには「さようなら」</li> <li>・夜に会ったら「こんばんは」</li> <li>・寝るときには「おやすみなさい」</li> </ul> </div>	<p><input type="checkbox"/> 教師が進んで明るく気持ちのよいあいさつをし、幼児の良きモデルとなるようにする。</p> <p><input type="checkbox"/> 楽しく歌いながら生活の中で気持ちのよいあいさつの言葉が身に付くようにしていく。</p> <p><input type="checkbox"/> 歌から出てきた子どもの自然な動きや身振り表現を大切に、動きを入れながら歌うことを楽しむ。</p> <p><input type="checkbox"/> 自分があいさつをしたときや、相手があいさつを返してくれたときに、どんな気持ちがあったかなど、相手とつながる気持ちに気づかせる。</p>			
<p>② 歌を歌いながら、場面に応じたあいさつの言葉があることを知る。</p> <div data-bbox="248 1693 1430 1794" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教師：「すてきなことば」というあいさつの歌があります。みんなの知っているあいさつの言葉が出てきます。先生が歌ってみます。聞いていてね。</p> </div> <div data-bbox="248 1827 799 2029" style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>教師 ♪「なかなかおりすることば」 ・ごめんなさい 教師 ♪「うれしいことばつたえよう」 ・ありがとう</p> </div>	<p><input type="checkbox"/> 「すてきなことば」の歌（P8～9参照）</p> <p><input type="checkbox"/> クラスに外国籍の幼児がいる場合は、その国のあいさつを紹介し、興味や関心がもてるようにしていく。</p>				

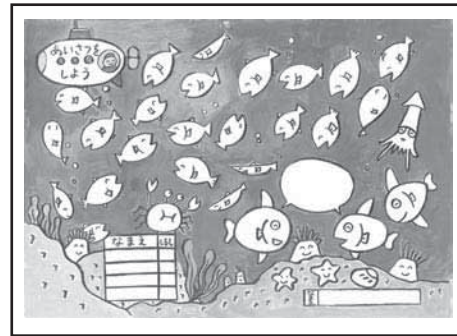
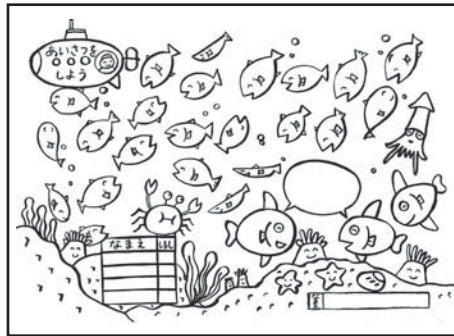
	活 動 内 容	環 境 の 構 成 ・ 教 師 の 援 助
展	<p>教師：歌の中に、みんながよく知っている言葉ができましたね。</p> <p>【予想される幼児の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ うれしい気持ちを伝えるとき、「ありがとう」</li> <li>・ けんかしたとき、仲直りすることばもあった。「ごめんなさい」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 歌を歌いながら、季節や天候にあわせたあいさつだけでなく、感謝の気持ちを表したり、仲直りをしたりする言葉があることに気づかせる。</li> <li>□ 自分の気持ちを素直に言葉で伝えられるようにすることの大切さを知らせる。</li> </ul>
	<p>教師：そうですね。「ありがとう」って友だちに言ったら、なんだか自分もうれしくなってきましたね。</p>	
開	<p>③ 「あいさつカード」の使い方を知る。</p> <p>教師：これは、「あいさつカード」です。家の人や知っている人とあいさつをしたときに、色塗りをしたり、シールを貼ったりしてみましょう。名前も書けますよ。家の人やおじいちゃん、おばあちゃん、いろいろな人とあいさつができるね。</p>	
	 <p>【予想される幼児の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ここ（吹き出し）にあいさつの言葉を書くだね。どんなあいさつにしようかな。</li> <li>・ 誰とあいさつしようかな。朝起きたらお母さんとあいさつしよう。お父さんさんともしよう。</li> <li>・ 家族みんなのできるね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 「あいさつカード」を使い、あいさつの習慣が身に付くようにするとともに、家族や身近な人とあいさつを交わすきっかけにする。</li> <li>□ 「おはよう」「こんにちは」など、自分たちであいさつの言葉を決めさせる。</li> <li>□ 元気にあいさつをすると、気持ちがよいことに気づかせる。</li> <li>□ あいさつを交わす楽しさ、うれしさが感じられるようにしていく。</li> <li>□ あいさつを通して、身の周りの人々とかかわりをもつことを大切にする。</li> <li>□ 保護者会等で、保護者同士や保護者と教師が進んであいさつをする姿を子どもたちに示すことの意味を伝え、家族の協力を得る。</li> <li>□ 元気にあいさつすることが、不審者に対する抑止力になることを伝える。</li> </ul>
資料の活用について	<p>○ 「あいさつカード」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「はる」、「うみ」、「ほし」、「ぶどう」、「ゆき」の5種類があり、1年間を通して取り組める。</li> <li>・ カードには、カラータイプと白黒タイプの2種類がある。幼児の実態に合わせて選ぶ。</li> <li>・ どのあいさつの言葉に取り組むかを自分で考えて、吹き出しにあいさつの言葉を入れる。</li> <li>・ あいさつをしたら、色塗りをしたり、シールを貼ったりする。</li> <li>・ カードに、自分だけでなく家族の名前を記入し、家族でも取り組めるようにする。</li> <li>・ いろいろな人と、たくさんあいさつをしたことが分かるようにする。</li> </ul>	

《 「あいさつカード」の種類 》

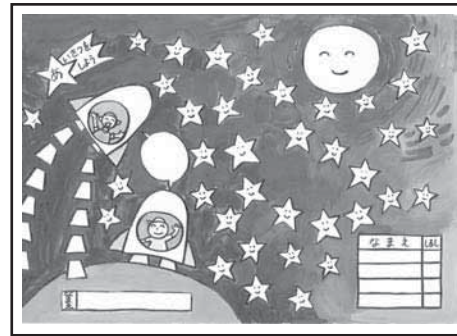
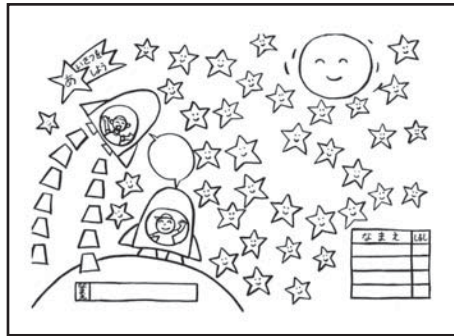
〈はる〉



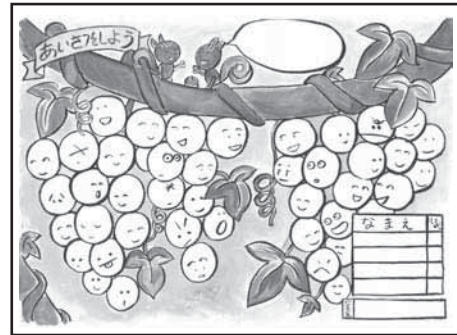
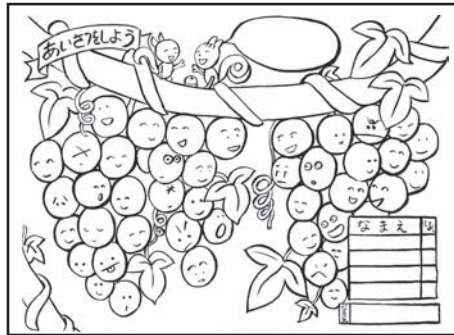
〈うみ〉



〈ほし〉



〈ぶどう〉



〈ゆき〉





# すてきなことば

作詞・作曲 塚本 伊津美

The musical score is written in 4/4 time with a key signature of one flat (B-flat). It consists of a vocal line and a piano accompaniment. The piano part features a steady eighth-note accompaniment in the right hand and a bass line in the left hand. The lyrics are written below the vocal line.

あさ になったら おは よう ひる です よ こんにちは  
よる になったよ こんばん は ねむ いねむ い おやすみ なさい  
いろんなあいさつ が ある ね ある ね  
なかなおりする ことば ごめん な さい

いろいろなあいさつ が ある ね ある ね  
 うれしいきもち つたえよう あり が と う  
 あいさつをしよ う あいさつを すれ ば  
 いつのま に か と も だ ち さ

The musical score consists of three systems, each with a vocal line (treble clef), a piano accompaniment line (treble clef), and a bass line (bass clef). The key signature is one flat (B-flat), and the time signature is 4/4. The lyrics are written in Japanese and are placed below the vocal line of each system. The first system contains the first two lines of lyrics, the second system contains the next two lines, and the third system contains the final line. The piano accompaniment features a steady eighth-note pattern in the right hand and a more rhythmic bass line. The bass line provides a harmonic foundation with chords and single notes.